

中井まさとも便り

2022年
10月号
No. 093

発行責任

日本共産党

香芝市議員

中井政友

香芝市五位堂

4-359-1

ma36sa83@kcn.jp

携帯

090-3869-9204



9月市議会報告

令和3年度は国・県の新型コロナウイルス対応 地方創生臨時交付金をきっかけ 香芝市第5次総合計画がスタート、健全化判断比率も改善しました。
◇黒字を残しつつ
市の（借金）公債費減少。
市の（貯金）基金は増えました。
しかし、
◇決算認定否決されてしまいました！
★関屋小学校大規模改修の設計変更での損失を理由に否決されたのです。県は土

砂警戒地域だが関屋小学校は改修すれば大丈夫との見解でした。

令和3年度の

市の主な柱は

- ① 子どもの高校までの医療費助成
 - ② JR香芝駅のバリアフリー化
 - ③ 民間学童保育所整備事業
 - ④ 保育料第2子の無償化
- 解説
右4点が市の柱でした。当時わが党は市議会の議席がありませんでしたが、全会派が全会一致で決められた予算です。大きな失敗や不正がなく執行されているにも関わらず。関屋小学校改修測量のやり直しを理由に全体の決算を否認するこ

再度の請願なげ否決

とは、予算計画に賛同したことと、矛盾しています。

「既に全面禁煙が実施されている公共施設については全面禁煙を維持し、未だ十分な対策が取られていない公共施設受動喫煙防止の取組を指導してください。」という請願です。



市役所に議員・職員のみ利用できる屋上喫煙所と庁舎北公共バス停近くに壁を囲った喫煙所が新たに設置されました。施設内全面禁煙から後退です。

中井一般質問

一、子育て施策について

① 公共施設問題と学校統廃合について

問一、公共施設マネジメント基本方針の目的は、

(答弁)今後の人口減少、人口構成の変化に応じた公共施設サービスの維持と財政面での持続可能性の確保です。

問二、公共施設を何%減らす計画か。

(答弁)施設総量(延床面積)を今後40年間で15%の削減を目指すとしております。今後の公共施設をめぐる様々な社会経済状況や、現在活動中の「香芝市公有財産有効活用検討会議」等の検討機関の建議結果等により、見直しを図っていく所存です。

問三、学校施設を何%減らすのか？

(答弁)香芝市学校施設等長寿命化計画を見直すべく検

討を始めるところです。その中で、今後の財政計画や人口推移などを鑑み、検討をすすめていきたい。

② 子どもの権利条例について

問一、本年(令和4年)6月児童福祉法が改正。「子ども家庭センター」設置が努力義務化され、子育て世帯に対する包括的な相談・支援に当たる体制強化が求められている。子ども基本・子ども家庭庁も令和5年4月1日施行、設置され、子どもを取り巻く行政事務が集約される。多くの自治体で「子どもの権利条例」を制定し、子ども・若者の支援に係る者、団体、事業者等地域で活動する者が連携する支えを制定している。本市では、どう取り組むのか。
(答弁)本市でも毎年虐待等が発生している。「子ども家庭センター」の設置に向けて取り組む予定である。「子どもの権利条例」については、検討していきたい。

二、県域水道一本化について

問一、水道の広域化については、総論賛成でも課題も多数抱えている。広域化により、水道行政に香芝市民の意見が反映しづらくなると思われませんか。

また、広域化により民営化が加速して行くのではと危惧しています。

(答弁)コンセッション方式は、民間への業務委託であり最終責任を引き続き企業が持つ。また企業団設立時には、企業団組合議会が開かれ、そこに議員を通して民意を反映する。

問二、市民への周知は？

(答弁)企業団設立時には、企業団もしくは県が広報すると考えるが、市からの周知は、それまで考えていない。



「紹介」

(中井後援会の会員さんから手書きの書面をいただきました)



(原文) 初体験！懲罰委員会傍聴して

2027年3月の市会議員、青木さん中井さんの二人が誕生して下さり4年間の共産党のおられなかった空白を補ってくださると思い、とてもうれしかったです。議員さん二人あれば議案の提出もできるし、やっとと後援会員のひとと喜んでいました。今、青木議員の懲罰を知り委員会の傍聴に行きびつくりしました。

青木さんの福祉教育委員会の発言は、懲罰に当たらないと中井議員は、もの静かに冷静に発言されました。賛成する議員は、何人も次々と賛成を述べられました。続いて「秘密会」にする賛否があり。秘密会で私たち傍聴者は、廊下に出されません。青木議員も指名されるまで別室で待機(きつと中井さんの頑張り)に緊張なさっている事でしょう。(再び委員会議室に入り秘密会の結論を聞いて終わりました。

毎回同じ会議の繰り返しでした。廊下に出るとみんな怒っています。私は、今度も青木さん中井さんの二人の議席があればこそ、繰り返される懲罰動議に負けずに中で頑張る中井さん、耐えながら頑張る青木さん、この二人の姿に感動しています。理不尽な議会運営に頑張りの絵が見えるのも共産党の力の表れと応援に力が入ります。

出席停止も司法の判断もあり青木さんは9月議会で質問もできました。市民の立場を理解して民主的な議会と市民に心を向けてくださる香芝市にしてほしいです。これからが二人の力の出しどころです。身体も心も大切に！応援のメールを届けます。



党創立100周年

記念講演会

未来ひらく強く大きな党を

志位委員長が記念講演

4氏からメッセージ

日本共産党は17日、党創立100周年記念講演会を党本部と全国をオンライン

でつないで開催しました。志位和夫委員長が「日本共産党100年の歴史と綱領を語る」と題して講演。日本共産党の100年の歴史を貫く三つの特質と一体に、現綱領の一つひとつの大切な内容が、どのような歴史的経過でつくられてきたのかを語り、「未来をひらく強く大きな党をつくるために力をそそぐ決意を、固めましょう」と呼びかけました。

沖縄県知事の玉城デニーさん、劇作家・演出家の永井愛さん、小説家・法政大学教授の島田雅彦さん、俳優の仲代達矢さんからのメッセージが紹介されました。記念講演は全国各地の視聴会場で多くの人が視聴し、ユーチューブでの視聴者は延べ4万7516人にのぼりました。



志位氏は、「三つの特質」として、
一、どんな困難なもとでも国民を裏切らず社会進歩の大義を貫く不屈性
二、科学的社会主義の立場にたって自己改革を進めてきた。
三、常に国民との共同・統一戦線で政治を変えようという立場を貫いてきた。を挙げ、「100年の歴史とのかかわりで『三つの特質』について、私たちの先輩たちのたたかいかいも紹介。いろいろな角度からの話でした」